

令和6年度 指導計画・評価計画 1、2、3年（表現）					担当者 坂本ひろの
年間指導計画			観点別評価の評価基準		
月	単元	時間	☑識・技能☑	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			対象や事象をとらえる造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
4	沈金 ・工芸と伝統工芸 ・沈金と伝統柄 ・沈金下描	2	赤カーボンを使って沈金盆に伝統柄を転写できる。 伝統柄を自分のイメージにあわせてデザインできる。	工芸の特性を理解する。 沈金の特性を理解する。 伝統柄の特性を理解する。	知識を自分の作品の制作に応用できる。
5、6、7	沈金彫り	10	沈金刀を正確に使える。 ニードルで梨地が作れる。 道具の使い分けができる。	デザインにそって沈金刀で線を表現できる。 感動の中心を生かす刀、ニードルの使い方を判断できる。	一つ一つの作業を丁寧に積み重ねられる。 積み重ねの結果として道具の使い方に習熟できる。 わからないことについて質問ができる。
9	〃	4	〃	〃	〃
10	沈金彫り ・金入れ ・仕上げ	4	青金、赤金の違いを理解できる。 金入れ仕上げ作業ができる。	デザインに合った金を選べる。仕上げ作業によってデザインを生かすことができる。	手順の説明を理解し、繰り返せる。 わからないことについて質問ができる。
11	三原色で描く花 ・構図について ・下描きについて ・色彩について（演習）	4	あたりをとって構図をつくれる。 各モチーフの特徴を描き分けられる。 3原色による混色ができる。	感動の中心のはっきりした構図がとれる。 色彩の成り立ちを三原色から理解する。	指示を聞くと同時に自分の色彩感覚を探ることができる。 感動の中心をつかむことができる。
12	三原色で描く花 下描きと彩色	3	モチーフに合わせて全ての色を混色で作ることができる。 筆を使いこなせる。	自分独自の色調を作れる。 色で感動の中心を際立たせることができる。	一つ一つの作業を丁寧に積み重ねられる。 作業の過程で自分の感動の中心を見失わない。
1、2	〃	8	〃	〃	〃
3	鑑賞	2	自分の作品を説明できる。	他人の作品を自分の美意識で鑑賞できる。	自分の考えを他人に理解できるように発表し、他人の考えを受容することができる。